

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標16] 平和と公正をすべての人に



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

16 平和と公正を すべての人に



DV

(ドメスティックバイオレンス)

配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から振られる暴力
(暴力は身体的・精神的・性的・経済的暴力など、さまざまな形態があります)

世界では、紛争や戦争により多くの命が失われ、難民として避難を余儀なくされている人々もたくさんいます。また、弱い立場の人々が強制労働や人身取引などにより不当な扱いを受けるなど、さまざまな差別や暴力などにさらされています。

世界の中でも治安は良いといわれている日本でも多くの犯罪が起きており、子どもへの虐待やDV、いじめなど、さまざまな問題も抱えています。

この目標は、私たちの心掛けで解決に近づく内容が多くあります。誰もが差別や暴力を受けることのない、平和で公正な社会をつくっていくためには、お互いの違いを理解し、認め合うことが大切です。私たち一人一人が今日から意識し、行動していきましょう。

日常生活でできる取り組み

- いじめや差別をしない、させない
- 政治に関心を持ち、選挙で投票する
- 犯罪の手口を知り、防犯対策をする

市の取り組み

- 家庭支援対策事業
→児童の健全育成を図るため、児童虐待やDVなどの家庭問題に対し、家庭相談員が相談や助言などのサポートを行う
- ウクライナ避難民の支援
→ロシアによる軍事侵攻を受け避難してきたウクライナ出身者が安心して生活できるようサポートを行う